

元気いっぱい! 夢いっぱい!

# 菊池っ子だより

vol.146

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎ 学校教育課 ☎ 0968(25)7231

## 夏 7月24日、25日 休みも元気いっぱい! ダブル快挙



8月9日には「第3回吹奏楽定期演奏会」を泗水ホールで開催。吹奏楽の魅力が届けられるよう、部員みんなが心を込めて演奏しました

7月24日に開催された第70回熊本県吹奏楽コンクールで、吹奏楽部が金賞を受賞しました。練習で磨いた「自分たちの音」をステージで最高のかたちにして発揮することができました。25日の県中体連水泳競技では、米田悠人さん(2年)が200mバタフライで準優勝し、九州大会出場を果たしました。

## 親 8月22日 の姿を見て学ぶ 親子愛校作業



きれいに草が刈られ、気持ちよく学校生活をスタートすることができました。近隣の皆さんも早朝からご協力ありがとうございました

PTA 親子愛校作業を実施しました。暑さを避けるため、午前6時30分から保護者が刈り払い作業を開始。7時から生徒たちも合流し、除草をみんなで行いました。早朝から作業する親の姿を見た生徒たちが、将来親になったとき、子どものPTA活動へ積極的に参加してくれることを期待しています。

## 台 6月29日 湾の小学生と一緒に踊ったよ!



㊤裕文国民小学校のダンスパフォーマンスに児童たちは見入っていました ㊦三味線の体験をする裕文国民小学校の子どもたち

台湾台南市東区の裕文国民小学校の児童23人が本校を訪れました。全体交流会では、本校の3年生がホタル夜想曲、裕文国民小の児童がダンスを披露し、日本文化体験タイムでは、ホタル夜想曲や円通寺太鼓、三味線を体験。言葉の壁を越えた交流をすることができ、素晴らしい経験になりました。

## 昼 7月14日 休み、地域の皆さんとかるた遊び!



地域の人にかかるたを詠んでもらったり、一緒になってかるたをとったりと、児童たちはとても楽しそうに遊んでいます

今年度から「夏場の新たな昼休みの過ごし方」として、エアコンの効いた室内で「菊池ふるさとかるた」を実施。地域学校協働活動と連携し、地域の皆さんと一緒に楽しんでいます。熱中症対策でもありますが、かるたで地元のことを知ることができ、地域の皆さんとも仲良くなれる貴重な時間になっています。

## 稲 8月26日 穂を守れ! 5年生の手作りかし



㊤「鳥たち怖がるかな」と工夫しながら、みんなでかかしを作りました ㊦できあがったオリジナルかかし。とても目立っています!

5年生が総合的な学習で、6月からバケツ稲を育てています。夏休み明けには、順調に育った稲に稲穂ができ、コメの花が咲き始めていることに気付きました。「スズメや虫から稲穂を守ろう!」とみんながかかしを作製。かかしさんが力を発揮して、立派なコメが収穫ができるよう、みんなで願っています。

旭志小学校

菊池北小学校

菊之池小学校

市内3高校の魅力を伝えます!

## 高校魅力化全力通信 vol.103

【問い合わせ先】  
菊女北辰高校  
☎0968(25)3032

●受け継ぐ志、ひらく未来  
昭和39(1964)年の開校以来、地域の皆さんに支えていただきながら歩んできた本校は、9月1日から「菊女北辰高等学校」に改名しました。  
「北辰」とは北極星のことで、創立者である故荒木修氏(あきお)が、かつて男子部を創立する構想を持った際に名付けようとしていた言葉です。どの時代にあっても、揺るがない教育への信念を表しています。  
また、これまで本校が歩んできた歴史や、卒業生の思いなどを考慮し、地域に愛された「菊女」をあえてブランド名として残しています。  
戦後の新しい高等学校制度の中で、女子も男子と同じように、高等教育を受け、世の中に羽ばたく未来を先見して創立された本校。開校当初は校舎一棟、運動場も未整備という環境でした。創立者自らブルドーザーを借りて運動場を整備し、将来は「無料で最高の教育を行う学校」を作りたいとの夢を抱き、初市のたびにスギやヒノキを購入して植林し、長年にわたって山の手入れを続けていました。木材からの収入を生徒の教育に役立てたいという思いがそこにはありました。

時代は変わり、社会も大きく変化しました。しかし、「一人一人を大切に思い、よりよい教育を、生徒のために」という創立者の思いは、今も本校の根底に息づいています。  
本校では、いち早く制服のジェンダーレス化を実施し、多様性を大切にしたダイバーシティ教育に取り組んでいます。英語はもとより、韓国語や中国語の他、地域で暮らすネパールやインドネシア、ベトナムなどの人々の言葉や文化に触れる機会を設けています。日本語を母語としない生徒のための日本語講座も行っています。言葉の壁はスマートフォンで超えられる時代だからこそ、自分の言葉と相手の反応で感動と暖かさを交わしあえる国際共生を進めています。  
菊女北辰高等学校はこれまでの菊女の歴史と伝統を大切にしながら、未来を見つめ、年齢や性別、国籍にかかわらず、一人一人の個性と可能性を大切に、多様性に寛容な教育を目指します。  
「菊女北辰」は、北極星のように揺るがない信念を胸に、これからも地域に愛される学校であり続けたいと思います。



●熊本地震災害ボランティア  
8月8日の高野瀬地区夏祭りとは8月22日のきくち盆踊りでは、災害募金活動を実施。翌23日には、校長や生徒など17人で、八代市へ災害ボランティア活動へ行きました。被災された人の思いに触れ、被災地のために汗を流す経験は、生徒にとつて教室では得られない学びとなりました。ボランティアを通して、役に立つ喜びを知る。そして、人々と出会い、心を動かされる。そんな小さな経験の積み重ねが、これから先、困難に出会ったときに、一歩踏み出す力につながっていくのだと思います。



### お知らせ

●菊女北辰フェスタ「ステージ部門」10月24日(土)ふるさと創生市民広場  
【催し物部門】11月7日(土)本校

●2026ジャパンプラザ入賞!  
8月27日(土)30日、東京都で開催された「2026ジャパンプラザ」に、バトントワリング部が出場し、フェスティバル部門で優秀賞を受賞。高等学校団体の部では、5年連続上位入賞を果たしました。個人部門では、井上凛音さん(家庭科3年)が、世界大会レベルの出場者の中、第5位に入賞。仲間と演技を作り上げる喜びと、日々の努力の大切さを改めて実感することができました。  
秋には、多数の地域イベントに出場しますの、応援よろしくお願いします。



きもの着付け全国大会で準優勝!

本校の家庭科の課題研究では、「着物着付け講座」で日本和装学園熊本中央本校学園長の山田京子先生の指導の下、和服のマナーを学び、早く美しく気をつけることを目指しています。今年度は、7月

今、私たちにできること

2026ジャパンプラザ入賞!

26日に大阪で行われた全国大会に、3年生6人が出場し、福岡ゆいさんが準優勝、島田ななさんが3位に輝き、他4人も特別賞を受賞。全国から選ばれた出場者が競う中、練習の成果を発揮することができました。